

【担当者名】 下村敦司 shimo@hoku-iryo-u.ac.jp 太田亨 才川悦子 田村至 中川賀嗣 榊原健一
永見慎輔 福田真二 飯泉智子 葛西聡子 小林健史 前田秀彦 柳田早織 若松千裕
米田龍大

【概要】

言語聴覚学に関係する各領域（発声発語障害、言語発達障害、摂食嚥下障害、失語・高次脳機能障害、聴覚障害など）での最先端の研究動向と成果を学ぶ。

【学修目標】

<一般目標>

技術が日々進歩している現代の医療現場で他の専門職種と連携し協業するために、言語聴覚療法の高度な専門知識と技術について説明できる。

<行動目標>

1. 発声・発語障害に関わる言語聴覚療法の最先端の研究動向と成果を説明できる。
2. 言語発達障害に関わる言語聴覚療法の最先端の研究動向と成果を説明できる。
3. 摂食・嚥下障害に関わる言語聴覚療法の最先端の研究動向と成果を説明できる。
4. 失語・高次脳機能障害に関わる言語聴覚療法の最先端の研究動向と成果を説明できる。
5. 聴覚障害に関わる言語聴覚療法の最先端の研究動向と成果を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 言語聴覚療法における再生医療	・本科目の概要や評価方法などについて説明をする。 ・言語聴覚療法における再生医療の研究の動向と成果を紹介する。	下村敦司
2	言語発達障害の臨床	言語発達障害児の支援に関する近年の研究の動向と成果を紹介する。	小林健史
3 4 5	発声発語障害	発声発語障害に関する近年の研究動向と成果を紹介する。	永見慎輔
6	耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科学、難聴診療に関する近年の研究の動向と成果を紹介する。	才川悦子
7	声帯振動と声質	喉頭調節、声帯振動の物理と声質との関係について、病的音声、健常者の音声に関する現在得られている成果と国際的動向について解説する。	榊原健一
8	失語症学	臨床的視点から失語症に関する近年の研究動向や成果を紹介する。	若松千裕
9	聴覚障害学	人工内耳に関する近年の研究の動向と成果を紹介する。	葛西聡子
10	他覚的聴力検査法	聴性定常反応（ASSR）に関する近年の研究の動向と成果を紹介する。	前田秀彦
11	高次脳機能障害 -記憶障害、注意障害-	失語・高次脳機能障害に関する近年の研究の動向と成果を紹介する。	田村 至
12	摂食嚥下リハビリテーション	摂食嚥下障害とそのリハビリテーションに関する近年の研究の動向と成果を紹介する。	飯泉智子
13	言語の生物学的基盤	特異的言語発達障害に関する近年の学際的な研究の動向と成果を紹介する。	福田真二
14	高次脳機能障害と神経心理学	高次脳機能障害は、神経心理学的にはどのように理解されるのか、その考え方を学ぶ。	中川賀嗣
15	音声障害	音声障害の評価と治療に関する近年の研究の動向と成果を紹介する。	柳田早織

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート 100%

レポートで多かった誤り、特徴的な問題点について問い合わせがあった際には解説を行う。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

各教員が、適宜紹介する。

【備考】

1. 一歩進んだ言語聴覚学を学びたいモチベーションの高い学生や、大学院進学を考えている学生にお勧めの科目である。
2. 開講日時が一部変則になる。詳細については、掲示等で確認すること。
3. 授業に関わる連絡、授業資料の配信、学習課題の提示
 - ・ 授業に関わる連絡はmanabaまたはi Portalを利用する。
 - ・ 資料の配信はmanabaまたはGoogle Classroomを利用する。
 - ・ 学習課題の提示はmanabaまたはGoogle Classroomを利用する。
4. 授業に関する意見交換
 - ・ manabaまたはGoogle Classroomを利用する。
5. 授業の理解度把握
 - ・ manabaのアンケート機能を利用する。

【学修の準備】

各領域の専門の教員がオムニバス形式で講義をするので、それぞれの担当教員の指示に従って予習（80分）と復習（80分）行うこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP5）国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。

（DP6）社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および言語聴覚療法科学の開発を实践できる能力を身につけている。

【実務経験】

田村至、永見慎輔、飯泉智子、葛西聡子、小林健史、前田秀彦、柳田早織、若松千裕（言語聴覚士）

中川賀嗣 太田亨、才川悦子（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

中川賀嗣、永見慎輔、太田亨、才川悦子、田村至、飯泉智子、葛西聡子、小林健史、前田秀彦、柳田早織、若松千裕：医療機関での臨床経験を活かし、言語聴覚障害学の各領域（失語・高次脳機能障害、言語発達障害、聴覚障害、発声発語障害、摂食嚥下障害など）に関する最新の知見や各障害の評価・リハビリテーションについて講義を行う。